

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 静岡県

本事業の担当部局名 健康福祉部こども若者局こども政策課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名	ふじのくに結婚応援協議会連携強化事業					新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和3年度		
総事業費(A)(円)	4,446,560	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	4,446,560		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	4,276,560						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	170,000	51,000	59,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	51,000	59,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	170,000	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	4,166,560	0	4,446,560
	対象経費支出予定額	0	0	0	4,166,560	0	4,276,560
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	170,000
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 当県では、しずおかこども幸せプラン(計画期間:令和7～11年度、以下「プラン」という。)を策定中であり、こども・若者及び子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目ない支援を実現し、少子化対策にも取り組んでいく予定である。また、静岡県では婚姻件数が毎年減少傾向にあることから、安心・安全な出会いの場の創出を行うとともに、子育てと仕事の両立支援について、男性の家事・育児への参画を促進するための取組を重点的に行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、プランの基本方針である、「結婚・出産・子育ての選択ができ希望がかなえられる社会を実現」に係る事業として位置付けており、静岡県における結婚支援事業の基盤となる結婚支援センターを運営し、センターの会員数の増加や成婚件数の向上を目指すものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	ふじのくに結婚応援協議会の運営	県と市町が、地域における結婚支援の実情と課題の共有、県と市町の役割分担に関する検討、今後の取組の協議を行い、協力して出会いの機会・場を創出するための協議会を運営する。 また、県内企業・団体へ協議会員が訪問し、センター広報の協力依頼と共に、センターの魅力向上につながる協賛店への登録を依頼する。				
	2	ふじのくに出会いサポートセンターの登録促進	県と市町により構成された「ふじのくに結婚応援協議会」が運営する「ふじのくに出会いサポートセンター」で、より多くの出会いの機会を提供するために、会員数増加に向け、以下の取組を実施する。 ・市町と連携し、市町主催の婚活イベントや保護者(結婚を望む子を持つ)世代が集まるイベント等の機会を活用し、出張登録・相談会の開催(会員登録時に必要な書類手続について市町職員がサポート)				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 現在、会員からは、マッチングの機会を増やすために会員の数を増やしてほしいといった要望等が寄せられている。システム上、お見合いの申込みは一日一回であるが、登録歴の長い会員の中には、既に申込みをしたことのある会員しか表示されず、新たな出会いの場を提供できていない場合がある。 以上から、センターの魅力向上や広報の強化を市町と連携して行うことを強化し、より多くの新規会員を獲得する必要がある。 課題に対応するため、令和7年度も引き続き、センターの魅力の一つである協賛店の拡大と、新規会員獲得に向けた県内企業・団体の訪問や、市町が実施する婚活イベント参加者に向けた出張登録相談会等の開催を行うことで、会員数の増加を図り、今年度以上の成婚数の向上に繋げていく。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	センターにおける年間成婚件数		件	60 (R7年度)	30 (R5年度)
	男性の育児休業取得率		%	30 (R7年度)	27.8 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R4年)	
	婚姻件数		件	13,127 (R4年)	
	婚姻率			3.8 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	企業・団体訪問件数	件	250 (R7年度)	190 (R6.11時点)
	②	出張・登録相談会の参加者数	人	70 (R7年度)	67 (R6.12時点)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R7年度)	〇〇 (集計中)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	協賛店登録件数	件	180 (R7年度)	130 (R6.12時点)
	⑤	出張登録・相談会参加者の満足度	%	100 (R7年度)	100 (R6.12時点)
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 静岡県

本事業の担当部局名 健康福祉部こども若者局こども政策課

事業メニュー	結婚支援コンシェルジュ事業						
区分	結婚支援コンシェルジュ事業						
関連事業メニュー	2.1 結婚支援コンシェルジュ事業						
個別事業名	ふじのくに出会い応援事業(結婚支援コンシェルジュの配置)				新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和4年度		
総事業費(A)(円)	9,072,780	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	9,072,780		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	9,072,780						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	9,072,780	0	9,072,780
	対象経費支出予定額	0	0	0	9,072,780	0	9,072,780
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当県では、しずおかこども幸せプラン(計画期間:令和7～11年度、以下「プラン」という。)を策定中であり、こども・若者及び子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目ない支援を実現し、少子化対策にも取り組んでいく予定である。また、静岡県では婚姻件数が毎年減少傾向にあることから、安心・安全な出会いの場の創出を行うとともに、子育てと仕事の両立支援について、男性の家事・育児への参画を促進するための取組を重点的に行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、プランの基本方針である、「結婚・出産・子育ての選択ができ希望がかなえられる社会を実現」に係る事業として位置付けており、当県の結婚支援センターは、県と市町が協力して運営していることから、結婚支援コンシェルジュをセンターに配置することにより、より効果的に県・市町等との更なる連携強化を目指すものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	①配置先 ②雇用形態 ③配置人数 ④人数の考え方・役割分担 ⑤実施体制	①ふじのくに出会いサポートセンター ②フルタイム ③2人 ④メインの担当を市町担当と企業担当に分けて配置し、相互にサブコンシェルジュを担う ⑤ふじのくに結婚応援協議会から、当県の結婚支援拠点「ふじのくに出会いサポートセンター」の運営受託会社に対して、結婚支援コンシェルジュ業務を委託する。センターに配置することで、県内市町の結婚支援を技術面・情報面から支援する。				
	2	活動内容(1) 管内市区町村、企業、地域団体等への訪問および現状把握	市町、企業・団体等に対して個別訪問によるヒアリング、結婚支援の取組状況等に関するアンケートなどにより現状把握を行う。				
	3	活動内容(2) 管内市区町村等が実施するイベント、セミナー、広報への助言・立会等による協力	市町が実施するイベント、セミナー、広報に係る企画立案等について助言・立会等を行う。				
	4	活動内容(3) 結婚支援事業未実施管内市区町村への働きかけ	結婚支援業務未実施管内市町に対して他の市町の結婚支援に関する取組や実施状況を情報共有などを行い、結婚支援業務に取り組んでもらえるように働きかける。				
	5	活動内容(4) 関係先(管内市区町村、管内結婚サポートセンター、企業等)との情報共有	ふじのくに結婚応援協議会やセンター通信などをとおして、管内の結婚支援の取組状況等に関する情報の提供及び共有を行う。				

6	活動内容(5) その他、各市町の結婚支援を技術面・情報面から支援するために必要と認められる業務	こども家庭庁が実施する結婚支援コンシェルジュ会議への参加、情報提供等の協力
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 静岡県内の35市町のうち、市町独自の結婚支援に取り組む市町は、30市町となっており、昨年(令和5年度:30市町)と同数となっており。未だに未実施市町がある。また、当県では、ふじのくに結婚応援協議会を設立し、県と市町が連携して結婚支援に取り組んでいる。 結婚支援コンシェルジュの活用により、結婚支援に取り組む市町をさらに増加させるとともに、企業等との連携の強化を図るため、企業における結婚支援に係る取組などの状況把握を行い、市町の事業範囲の拡大を目指し、県全体の結婚支援に対する取組の深化を図る。</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	センターにおける年間成婚件数		件	60 (R7年度)	30 (R5年度)
	男性の育児休業取得率		%	30 (R7年度)	27.8 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R4年)	
	婚姻件数		件	13,127 (R4年)	
	婚姻率			3.8 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	対面・オンラインによる個別訪問市町数/管内市町数	%	100 (毎年度)	100 (毎年度)
	②	対面・オンラインによる企業・団体等への個別訪問数	社	220 (R7年度)	188 (R6.12時点)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	市町職員のコンシェルジュ事業に対する満足度	%	80 (R7年度)	集計予定 (R7.3)
⑤	コンシェルジュの働きかけにより取組を始めた市町数	市町	2 (R7年度)	集計予定 (R7.3)	
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 静岡県
 本事業の担当部局名 健康福祉部こども若者局こども政策課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターに関する取組						
個別事業名	ふじのくに出会い応援事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和3年度
総事業費(A)(円)	36,580,805		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	8,700,000		差引額(A-B)(円)	27,880,805
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	32,180,805						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,699,000	0	0	32,881,805	0	36,580,805
	対象経費支出予定額	3,699,000	0	0	28,481,805	0	32,180,805
対象外経費支出予定額	0	0	0	4,400,000	0	4,400,000	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 当県では、しずおかこども幸せプラン(計画期間:令和7～11年度、以下「プラン」という。)を策定中であり、こども・若者及び子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目ない支援を実現し、少子化対策にも取り組んでいく予定である。また、静岡県では婚姻件数が毎年減少傾向にあることから、安心・安全な出会いの場の創出を行うとともに、子育てと仕事の両立支援について、男性の家事・育児への参画を促進するための取組を重点的に行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、プランの基本方針である、「結婚・出産・子育ての選択ができ希望がかなえられる社会を実現」に係る事業として位置付けており、静岡県における結婚支援事業の基盤となる結婚支援センターを運営し、センターの会員数の増加や成婚件数の向上を目指すものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	ふじのくに出会いサポートセンターの運営	県と市町の負担及び会員の利用登録料により、県全体で若者の結婚を支援する拠点として「ふじのくに出会いサポートセンター」を運営し、以下の取組を行う。 ・会員への個別相談の実施 ・センター主催の婚活イベントやセミナー等の開催※交付金未活用 ・会員数の増加及びセンター認知度向上のための周知広報(チラシ・ポスター・HP・公式SNS・自治体広報誌など)※交付金未活用 ・会員数の増加及びセンター認知度向上のための企業訪問 ・センター職員のスキル向上のための研修会の開催 ・会員への優待サービスの提供を行う協賛店の募集				
	2	マッチングシステムの運用	スマートフォンやPCでお相手を検索し、出会いの機会を創出することができるマッチングシステムを運用する。				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 月によって、新規会員登録者に波があり、令和6年度については、年間目標とする、新規会員数、会費収入の達成は困難な状態となっている。 また、開設から3年が経ったことから、会費収入の年間見込みを過去の実績を基に積算し、それも踏まえた会費収入の目標値を設定することとした。 その上で、やはり継続的な結婚支援センターの運営を実現するためには、新規会員の獲得に向けた、効果的な広報の実施が必要である。 今年度実施した広報の効果を分析し、SNSや新たな広報を実施し、より多くの新規会員獲得を目指す。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	センターにおける年間成婚件数		件	60 (R7年度)	30 (R5年度)
	男性の育児休業取得率		%	30 (R7年度)	27.8 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R4年)	
	婚姻件数		件	13,127 (R4年)	
	婚姻率			3.8 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	センターの本会員数	人	3,000 (R7年度)	1,182 (R6.12時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R7年度)	〇〇 (集計中)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	会員の個別相談の満足度	%	100 (R7年度)	〇〇 (集計中)
	⑤	センターにおけるお見合いの年間成立組数	組	1,500 (R7年度)	1,220 (R6.12時点)
	⑥	センターにおける交際の年間成立組数	組	100 (R7年度)	84 (R6.12時点)
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 静岡県

本事業の担当部局名 健康福祉部こども若者局こども未来課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	若い世代向け結婚・子育て等ライフデザイン応援事業					新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)	3,386,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,386,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,386,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	91,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	91,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,295,000	0	0	0	0	3,386,000
	対象経費支出予定額	3,295,000	0	0	0	0	3,386,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 当県では、しずおかこども幸せプラン(計画期間:令和7～11年度、以下「プラン」という。)を策定中であり、こども・若者及び子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目ない支援を実現し、少子化対策にも取り組んでいく予定である。また、静岡県では婚姻件数が毎年減少傾向にあることから、安心・安全な出会いの場の創出を行うとともに、子育てと仕事の両立支援について、男性の家事・育児への参画を促進するための取組を重点的に行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本県では、結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現のため、若者が働くことや結婚、家庭を持つことについて様々な夢を描きその夢をかなえることができるよう、キャリア教育の充実に取り組んでいる。 これまでの職業観の醸成に加え、結婚や出産・子育てなどのライフイベントも含めたライフデザインを考える機会を若い世代に提供することで、より具体的な将来を描けるよう支援する必要がある。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	学校への出前講座	<p>学校や大学でのキャリア教育と連携し、結婚、子育て、仕事等の将来の様々なライフイベントに柔軟に対応するための知識や情報を総合的に学ぶ機会を提供する。 講師には、キャリアコンサルタントのほか、地域の子育て支援団体と連携し、結婚や子育て・仕事のロールモデルも参画し、学生が自らのライフプランを描く演習を交えた内容の講義とする。 学生の意識変化を把握するため講座前後でアンケートを実施する。 県内の幅広い地域で実施し、地域における取組の横展開を図る。 ・対象:中学生、高校生、大学生 ・実施校:20校程度(中学校8校、高等学校10校、大学4校) 各校30人～100人程度</p>				
	2						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> アンケート結果を活用し、各世代に応じたセミナーの内容について検討を行い、より効果的に実施されるよう見直しを図る。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	センターにおける年間成婚件数		件	60 (R7年度)	30 (R5年度)
	男性の育児休業取得率		%	30 (R7年度)	27.8 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R4年)	
	婚姻件数		件	13,127 (R4年)	
	婚姻率			3.8 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	出前講座受講者数	人	800	804 (R7.1.1時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	出前講座においてライフデザインについて考えるきっかけとなった参加者の割合(満足度)	%	95	94.3 (R7.1.1時点)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 静岡県
 本事業の担当部局名 健康福祉部こども若者局こども未来課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.4 その他、ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
個別事業名	若い世代向け結婚・子育て等ライフデザイン応援事業					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)	3,009,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,009,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,009,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	9,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	9,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	0	3,000,000	3,009,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	3,000,000	3,009,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 当県では、しずおかこども幸せプラン(計画期間:令和7～11年度、以下「プラン」という。)を策定中であり、こども・若者及び子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目ない支援を実現し、少子化対策にも取り組んでいく予定である。また、静岡県では婚姻件数が毎年減少傾向にあることから、安心・安全な出会いの場の創出を行うとともに、子育てと仕事の両立支援について、男性の家事・育児への参画を促進するための取組を重点的に行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本県では、結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現のため、若者が働くことや結婚、家庭を持つことについて様々な夢を描きその夢をかなえることができるよう、キャリア教育の充実に取り組んでいる。 これまでの職業観の醸成に加え、結婚や出産・子育てなどのライフイベントも含めたライフデザインを考える機会を若い世代に提供することで、より具体的な将来を描けるよう支援する必要がある。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	子どもや子育て世代との交流・体験	子育て支援団体への助成を通して、若い世代が子どもや子育て世代との交流や体験の中から、結婚や子育てを実感し、将来のライフデザインを描く機会を提供する。 地域での支援を通じて、すでに子どもと子育て世代とつながっている子育て支援団体と連携することで、より具体的・効果的な交流・体験が実現できるため、県の目的を理解し、課題解決に共に取り組むことができる子育て支援団体の事業を助成する。 事業の採択にあたっては、地域に根付いている団体の自主性に加え、アンケート結果等の若い世代の意見を踏まえた検討を行い、地域力の更なる強化や、若い世代の意見の反映、他団体への横展開へと繋げていく。 ・対象:子育て支援団体(個人・企業除く) ・対象事業:若い世代が結婚や子育て、仕事等を含む将来のライフプランを描くきっかけづくりとなる事業 ・補助数:6団体程度 ・補助率:10/10 ・上限額:50万円/団体				
	2						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> アンケート結果等を踏まえ、事業採択要件の見直しなど検討を行い、より効果的に実施されるよう改善を図る。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	センターにおける年間成婚件数		件	60 (R7年度)	30 (R5年度)
	男性の育児休業取得率		%	30 (R7年度)	27.8 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R4年)	
	婚姻件数		件	13,127 (R4年)	
	婚姻率			3.8 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	助成した子育て支援団体数	団体	6	7 (R7.1.1時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	子育て支援団体の事業でライフデザインについて考えるきっかけとなった参加者の割合(満足度)	%	90	2月には把握可能
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 静岡県
 本事業の担当部局名 健康福祉部こども若者局こども政策課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進							
個別事業名	仕事と家庭の両立支援事業					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成27年度	
総事業費(A)(円)	6,542,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	6,542,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	6,542,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	300,000	0	23,000	52,000	22,000	241,000	
	対象経費支出予定額	300,000	0	23,000	52,000	22,000	241,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	5,808,000	96,000	0	0	0	6,542,000	
	対象経費支出予定額	5,808,000	96,000	0	0	0	6,542,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当県では、しずおかこども幸せプラン(計画期間:令和7～11年度、以下「プラン」という。)を策定中であり、こども・若者及び子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目ない支援を実現し、少子化対策にも取り組んでいく予定である。また、静岡県では婚姻件数が毎年減少傾向にあることから、安心・安全な出会いの場の創出を行うとともに、子育てと仕事の両立支援について、男性の家事・育児への参画を促進するための取組を重点的に行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、プランの基本方針である、「結婚・出産・子育ての選択ができ希望がかなえられる社会を実現」に係る事業として位置付けており、男女共同参画意識を高め、固定的な性別役割分担意識の解消を図るとともに企業の管理職等の意識改革を図り、子育てと仕事を両立できる職場環境づくりを推進していくものである。</p>						
個別事業	番号	項目	内容					
	1	男性育休取得促進講座	育児休業の取得を希望する男性労働者が当りに育児休業を取得し、「共働き・子育て」が可能な社会の実現のためには、職場の理解が欠かせないことから、企業の経営者や管理職等を対象にしたセミナーを開催する。 また、育児休業取得促進には、当事者である男性労働者が制度や取得のメリットについて知る必要があることから、当事者向けセミナーも併せて開催する。 <共通> ・育児休業制度についての解説 ・育児休業取得のメリット(経営者視点、当事者視点) <経営者セミナーのみ> ・子育て中の部下のマネジメント(産後うつ対策等) ・先進事例の紹介 <当事者セミナーのみ> ・育児休業期間中の経済的支援 ・家事、育児の分担について ・育児と仕事の両立ポイント ・ロールモデルの紹介					
2	仕事と家庭の両立推進出前講座	男性の育児休業取得が進みつつある一方で、男性の産後うつ等、課題もあることから、県内企業を5社程度を対象に男性育休を上手に推進するためのポイントを出前講座形式で実施する。						

業 の 内 容	3	男性の家事・育児参画促進企業向け講演会	女性の仕事と家事・育児の二重負担を解消し、女性の就労継続を可能にするため、男性の家事・育児参加促進に向けた講座を出前講座から講演会形式として対象を拡大して実施する。また、経験者等によるパネルディスカッションを取り入れる。 新たに、「家事・育児参加促進啓発リーフレット」を作成し、家庭分担の意識啓発を行う。 ○講演会(1回) ・内容:講演会、パネルディスカッション ・参加予定者数(定員):100人 ○募集方法:静岡県男女共同参画社会づくり宣言事業所(県内1,770の企業等が登録(令和6年12月現在))等に公募 ○家事・育児参加促進啓発リーフレット作成
	4	父親参加型交流会	子育て家庭における母親の家事・育児負担の軽減や子どもの健全な育成のため、父親の子育て参加の推進が重要であることから、遊びを通じた父親と子どもとのふれあいや交流機会を創出する父親参加型交流イベントを県内の東・中・西部地区で各1回(計3回)開催する。 ※参加予定人数:1,500人(500人×3回)

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>
 ・男性育休取得促進講座
 企業向けセミナーでは、育児介護休業法の改正に対する対応や、他企業の先進事例を学びたい要望があるため、ニーズに応じたセミナー内容とする。
 ・男性の家事・育児参加促進講演会
 令和6年度に実施した講座の成果(参加者数)やアンケートに基づき、講演会の開催方法や構成、テーマについて検証し、より効果的な開催方法について検討する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		センターにおける年間成婚件数		件	60 (R7年度)
	男性の育児休業取得率		%	30 (R7年度)	27.8 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33 (R4年)	
	婚姻件数		件	13,127 (R4年)	
	婚姻率			3.8 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	男性育休取得促進講座の参加者数	人	300	R7.2月に確定
	②	仕事と家庭の両立推進出前講座の実施企業数	社	5	-
	③	男性の家事・育児参加促進講演会講演会の参加者数	人	100 (R7)	100 (R5年度)
	④	父親参加型交流会 参加人数	人	1,500 (R7年度)	1,883 (R5年度)
	⑤	父親参加型交流会 募集定員数に対する参加者数の割合	%	100 (R7年度)	100 (R5年度)
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚・妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	男性育休取得促進講座の満足度	%	90	R7.2月に確定
	⑤	仕事と家庭の両立推進出前講座の満足度	%	90	R7.2月に確定
⑥	家事・育児に積極的に関わろうと考えるようになった男性参加者の割合	%	80	-	
⑦	(父親参加型交流会)参加後に新たに家事・育児で取り組む項目があると答えた参加者の割合	%	50 (R7年度)	40 (R5年度)	
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 静岡県
 本事業の担当部局名 健康福祉部こども若者局こども政策課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	3.2.5 ICT活用、官民連携等による結婚支援等の更なる推進のための調査研究							
個別事業名	少子化対策分析事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規		
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円)	7,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	7,000,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	7,000,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000	
	対象経費支出予定額	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当県では、しずおか子ども幸せプラン(計画期間: 令和7~11年度、以下「プラン」という。)を策定中であり、子ども・若者及び子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目ない支援を実現し、少子化対策にも取り組んでいく予定である。また、静岡県では婚姻件数が毎年減少傾向にあることから、安心・安全な出会いの場の創出を行うとともに、子育てと仕事の両立支援について、男性の家事・育児への参画を促進するための取組を重点的に行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 生活環境や地理的要因、子育て支援サービスなど、少子化の要因は地域ごとに異なる。そのため、それぞれの指標や取組等を把握・分析、展開することで、本県の効果的な少子化対策実施の参考とする。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	各種データの収集、分析	人口動態統計、国勢調査等様々な統計データ及び、自治体実施事業とその実績等、各種データの収集、分析を行う。					
2	「地域パラメーター見える化分析」ツールの作成	生活環境や地理的要因、子育て支援サービスなどの地域特性が実際の出生率にどう影響しているのかといった、客観的データである「地域パラメーター」を最新統計データ等を用いて見える化を行う。						

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		センターにおける年間成婚件数	件	60 (R7年度)	30 (R5年度)
	男性の育児休業取得率	%	30 (R7年度)	27.8 (R5年度)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.33 (R4年)	
		婚姻件数	件	13,127 (R4年)	
		婚姻率		3.8 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	調査研究結果を掲載したHP等のリーチ数	件	100 (R7年度)	---
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	分析結果を活用し、新規事業立案に取り組む市町数	市町	35 (R8年度)	---
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					